

各教科チェックシート

学部・学年	氏 名	中学部・中学校版
中・〇年	〇〇 〇〇	

教科等	内 容	知的障害がある児童生徒						知的障害がない児童生徒						備考					
		小学部 (段階)			中学部 (段階)			小学校 (学年)			中学校 (学年)			具体的な指導内容	指導場面 教科・単元等				
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	5	6			1	2	3	
生活 (特別支援学校) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">生活科</div> 	ア 基本的生活習慣	●																挨拶・呼名・一日の予定確認・荷物準備・排泄指導・水分摂取・今日の天気確認・単元「お店のマークを探してウォークラリーをしよう」 日常生活の指導・給食・集団課題学習等	日常生活の指導・給食・集団課題学習等
	イ 安全	●																	
	ウ 日課・予定	●																	
	エ 遊び	●																	
	オ 人との関わり	●																	
	カ 役割	●																	
	キ 手伝い・仕事	●																	
	ク 金銭の扱い	●																	
	ケ きまり	●																	
	コ 社会の仕組みと公共施設	●																	
	サ 生命・自然	●																	
	シ ものの仕組みと働き	●																	
※ (特)2段階 同観点 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">国語</div>	知識及び技能	●																絵本の読み聞かせ・劇発表 個別課題学習・特別日課(桜翔祭に向けて)等	
A 聞くこと・話すこと	●																		
B 書くこと	●																		
C 読むこと	●																		
社会 (中 地歴公) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">社会</div>	知識及び技能	●																	
ア 社会生活のきまり	●																		
イ 公共施設と制度	●																		
ウ 地域の安全	●																		
エ 産業と生活	●																		
オ 我が国の地理や歴史	●																		
カ 外国の様子	●																		
※ (特)2・3段階 同観点 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">算数</div>	A 数と計算 (中学校 数と式)	●																Tスローをしよう(数を数えて勝敗を知る) 体育	
B 図形	●																		
C 測定 (中学校 関数)	●																		
D データの活用	●																		
数学的活動 (中学校・中学部)	●																		
理科 (小学校3～6年 A 物質・エネルギー B 生命・地球)	A 生命	●																	
B 地球・自然	●																		
C 物質・エネルギー	●																		
音楽 	A 表現 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">音楽</div>	●																季節の歌に合わせて楽器を鳴らす 音楽	
B 鑑賞	●																		
図画工作 (中 美術) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">図工</div>	A 表現	●																絵画・リキッド粘土・墨絵 美術	
B 鑑賞	●																		
技術・家庭 (小学校 家庭)	A 家族・家庭生活 (中 技術分野)	●																	
B 衣食住の生活 (中 家庭分野)	●																		
C 消費生活・環境	●																		
職業・家庭 (中学部)	A 職業分野	●																	
B 家庭分野	●																		
保健体育 (小学部 体育) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">体育</div>	A 体づくり運動	●																Tスロー・水泳・チャレンジ体操(ボール・スラローム・マット運動) 体育	
B 器械運動	●																		
C 陸上運動	●																		
D 水泳運動	●																		
E 球技	●																		
F 武道	●																		
G ダンス	●																		
H 保健	●																		
外国語 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">外国</div>	知識及び技能	●																歌・手遊び・ロンド・ブリッジ ALT	
思考力・判断力・表現力等	●																		
外国語活動 ※(2)	●																		
特別の教科道徳※(1)	●																		
総合的な学習の時間	●																		
特別活動	●																		

授業者から
 段階の目標・内容を意識した指導が大切だと考える。



授業者から
 それぞれの段階が合っているのか難しいときがあるが、子供の実態を把握し、目標を考える基準になって良い。

授業者から
 1段階の所にチェックしたが、1段階の内容で指導するのか自立活動の内容で指導するのか、学級で確認することでより授業が深まると感じた。

自立活動フローシート

学部・学年 中、○学年 氏名 ○○ ○○

授業者から
 フローシートが自校で使用していたアセスメント表と似ていたため、今までの形をベースに作成することができた。



発達の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見

収集した情報を自立活動の区分に即して整理

実態把握	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	<ul style="list-style-type: none"> 排泄は、自ら出たことを伝える様子が見られない。便座に座って成功できる時がある。 食事は自食の練習を行っている。 補助食器からスプーンですくって食べることができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 気に入ったおもちゃで遊んでいるときや教師が話しかけたり、身体に触れたりしたときなどに笑顔になることが増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「だめ」「ノンノンだよ」などの禁止の言葉を聞いて涙目になる。(H28から) 友達の持っているおもちゃに手を伸ばして触ろうとすることがある。 家族や担任など見知った人とそうでない人を区別でき、人見知りをすることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 遠視があるため、眼鏡を使用する。 教師の動きをよく見ており給食セットの準備などをして「ママ」と声を出して早く食堂に行きたいことを伝えることができる。 床に置いてあるおもちゃを見つけたら、それに向かいずりばいで前進や、寝返りで移動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体幹がしっかりしている。車いすの移動は自走の練習に取り組み始めている。 自力で仰臥位→側臥位→楽座と姿勢変換をすることができる。(座位→臥位も可) 目標(連絡帳やおもちゃなど)があるとそれに向かってずりばいと寝返りで移動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目の前で名前を呼んだり、語りかけたりしたことに対してはチラッと見たり、聞いたりしているような様子が見られる。 教師の行動を目で追ったり振り向いたりする。 「ちょうだい」の言葉かけや動作に手渡すことができる。 「ママママ」「ババババ」と喃語を言うことが増えてきている。周囲からはたらきかけや言葉かけに喜ぶ。

いくつかの指導目標の中で優先する目標として

3年後にめざす姿	<ul style="list-style-type: none"> 教師や友達とのやりとりを楽しみ、表情や声で自分の気持ちを伝えることができる。 物に応じて手を動かし、変化を起こすことができる。 両手や両足でしっかりと自分の身体を支えたり、行きたい方向に向かって足を踏み出したりすることができる。
----------	--

長期目標(年間)	<ul style="list-style-type: none"> 教師とのやりとりを通して、はたらきかけを受け止めて応えることができる。 引き出しを引いたり、ふたを開けたり、袋を開けたりして目的の物を取り出すことができる。 膝立ちや立位などいろいろな姿勢を保持したり、立位から足を踏み出したりすることができる。
----------	--

指導目標を達成するために必要な項目の選定

選定した項目	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
①生活のリズムや生活習慣の形成	①情緒の安定	①他者とのかかわりの基礎	①保有する感覚の活用	①姿勢と運動・動作の基本技能	①コミュニケーションの基礎的能力	
②病気の状態の理解と生活管理	②状況の理解と変化への対応	②他者の意図や感情の理解	②感覚や認知の特性への対応	②姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用	②言語の受容と表出	
③身体各部の状態の理解と養護	③障害による学習上又は生活上の困難を克服	③自己の理解と行動の調整	③感覚の補助及び代行手段の活用	③日常生活に必要な基本動作	③言語の形成と活用	
④障害のある生活			④感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握	④身体の移動能力	④コミュニケーション手段の選択と活用	
			⑤認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	⑤作業に必要な動作と円滑な遂行	⑤状況に応じたコミュニケーション	

授業者から
 自立活動の内容の6区分27項目から具体的な指導内容を考えることで、一つの視点だけでなく様々な視点から活動を考えることができた。学習指導案にも様々な視点から考え活動内容を設定することができた。

選定された項目を関連付け、具体的な指導内容を設定

具体的な指導内容	<ul style="list-style-type: none"> 教師とのやりとりを通して、物を握る、離すなど手の動きを広げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒に、引き出しを引いたり、入れ物のふたを開けたりして、入っている物を取り出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒に、いろいろな姿勢を保持した状態で手を使ったり、立位から足を踏み出したりすることができる。
----------	---	---	--

この内容で授業に取り組んだ。

指導場面(各教科・単元名)	教科等	単元名等	教科等	単元名等	教科等	単元名等
	日常生活	朝の準備をしよう	個別課題	果物狩りに行こう	自立活動	楽しく身体を動かそう
	体育	Tスローをしよう			音楽	『花の街』～楽器を鳴らそう～

※ 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚園・小学部・中学部)より抜粋及び参照。(P. 140~143)

中学部 自立活動「課題学習（個別）」 学習指導案

日 時
場 所
指導者



- 1 題材名 くだもの狩りに行こう
- 2 題材について

本授業は、中学部〇年男子生徒〇名に対して教員が〇名の体制で個別学習を行っている。

身体面に関して、本生徒は教師に支えられて立位をとることができ、平行棒やSRCウォーカーを使っての歩行は、教師の支えと言葉がけに合わせて一步ずつ、前に出せるようになってきている。安定した座位をとることはできるが、一人で床に座っていると自ら仰向けになり、寝転がる姿勢になっていることが多い。小学部高学年の頃より、手指の動きも積極的に出てくるようになっており、学級では毎朝かばんの中から荷物を取り出したり、車いすの自走練習に取り組んだりもしている。気に入ったおもちゃを持ち続けることはできるが、手に持った物を口へと運び舐めて遊ぶことが多い。かばんから取り出した物をかごに入れたり、置いたりする動作を一人で行うのは難しい様子である。

自分の名前の理解はあり、朝の会や学習活動において呼名されると、手でタッチしたりギュッと握って返事をしたりすることができる。言葉かけに対して、時々ではあるが声を出して応える様子も見られる。4月に比べ、7月頃には友達の様子を見て状況を把握し、笑顔で声を出しながら笑って見ている様子も見られるようになってきた。また、食事に対しての意欲が高く、教師がエプロンをつける様子を見ると大きな声を出して、早く食堂に行きたい気持ちを伝えることができる。

日常の学習に対する意欲は高く積極的に取り組もうとする姿が見られる。絵本の読み聞かせも好きで、話し始めると、絵本を注視しページに手を伸ばして選ぼうとする様子が見られる。

今年度実施した新版K式発達検査の結果、具体的な認知適応検査の結果、木では手が伸びなかった。おもちゃに触れたり出さなかった「はめ板・円板をはずす」ことができるようになっていた。言語社会検査では、言葉かけを良く聞き、それに対して反応している様子が見られている。

授業者より
自立活動フローシートの「具体的な指導内容」を基に、今回は自立活動の時間における指導の中で取り上げ本単元を設定した。

これらの実態から個別課題学習の時間には、**人とのやりとりを楽しみながら問いかけに回答すること、握り続けることで動作の変化を感じられること、興味関心のある教材をとおして自分から手を使うことができるようにすること、**以上3点を重視して学習に取り組んでいこうと考えた。

はじめに教師とのやりとりを楽しむための導入として、手遊び「一本橋こちょこちょ」を行う。「手を出してください。」という言葉かけと、手の平を差し出すことで自分から手を出せるようにし、コミュニケーションできるようにする。馴染みのある手遊びを行うことで、次にどんなことが起きるかという予感を持ってワクワクした気持ちで手遊びをする。手遊びがリラックスできた状態で行う「一本橋こちょこちょ」を行う。この手遊びは、本人の意思で手を出せるようにして取り組む。



授業者より
自立活動フローシートに記述した「具体的な指導内容」は特定の授業だけでなく、学校生活全体で取り組んでいくことができる。学習指導案で記述した授業だけで取り組むのではなく、この授業をきっかけに日常生活のかかわりにも広げ、自立活動の6区分27項目を意識しながら今後も取り組んでいきたい。

「握り続ける」「くだものさん」の位置に提示しながら、模型とそれ以外の物を選ぶようにして取り組む。また、「自分から手を伸ばして選ぶ」ことを意識させるのではなく、教師が後方から支えた状態で、提示された物の位置まで行って取りに行くようにして行う。

これらの学習を通して、「人との関わりを楽しみながらコミュニケーションがとれる」や「自分の手を使って、自分が思うように、やりたいように物を操作することができる」など日常生活にもできる力が広がり、今以上に自分の意思をもち楽しんで生活できるようになることを願っている。